

令和 8 年度第 1 回
鳥取市社会教育委員会、生涯学習推進協議会 議事録

日時：令和 8 年 7 月 1 7 日（金） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 3 5 分

場所：鳥取市役所本庁舎 6 階 第 3 会議室

出席者：蓮佛委員、砂場委員、佐々木委員、森田委員、新田委員、山下委員、佐分利委員、吉田委員、福田委員、竹内委員、森本委員、棚田委員、牛尾委員、藤井委員、宮脇委員

欠席者：川口委員、濱田委員

事務局 生涯学習・スポーツ課

（浜田課長、保木本係長、下田主事、福田主事、三浦主事）

※発言内容について、事務局で一部加筆訂正しています。

1 開会 1 0 時 0 0 分

2 生涯学習・スポーツ課長 あいさつ

3 会長 あいさつ

4 自己紹介

5 確認事項

「鳥取市の社会教育委員・生涯学習推進協議会委員について」

6 報告事項

（1）第 4 9 回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会について

（2）生涯学習推進基本方針関連事業について

7 協議事項

鳥取市生涯学習基本方針の見直しについて

8 今後の予定・その他

9 閉会 1 1 時 3 5 分

5 確認事項

鳥取市の社会教育委員・生涯学習推進協議会委員について

(事務局説明)

議長) ありがとうございます。今ご説明のありました通り、2つの役割という形になりまして、教育委員会からと市長から委嘱を受けています。幅広い視点からご意見をいただければと思います。この点に関してはよろしいでしょうか。それでは次に進みたいと思います。

6 報告事項

(1)第49回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会について

(事務局説明)

議長) 今回は鳥取市での開催となり、とりぎん文化会館になりますので、皆様のご協力を仰ぐことになろうかと思えます。もう少し内容が決定し、ご協力いただく部分が出てきましたら、個別でご相談させていただくことになろうかと思えます。今年度は高松市で開催ということで、会長・副会長は参加予定としているところです。ご関心あれば、ご参加いただければと思います。社会教育研究大会は、他県の実社会教育、社会教育委員の取り組みをみる貴重な機会になるので、ぜひご参加いただきたいと思えます。

(2)生涯学習推進基本方針関連事業について

(事務局説明)

議長) 皆様のご関心の分野や関わられている分野でご意見等あれば、ここでまず事実確認していただいて、のちの方針の文言に反映させるべきところがないか等お気づきの点やご質問はいかがでしょうか。

委員) 資料6-5 文化交流課の芸術の出前講座がB評価になっています。今後の見直しの方針では、学校教育の現状やニーズ等を把握しながら、事業内容等の検討を行っていく必要があるということでした。実際に講座を行っている文化団体協議会の方にはこのような見直しや検討の話はされなかったのですが、文化交流課がどのように検討されたのかを知りたいなと思いました。

事務局) 今回いただいた意見を文化交流課にも確認してみようと思えます。

議長) せっかく評価を付けているので、その他全般にも言えることだとは思いますが、課題があるまたは検討が必要となっているものについて、各課がどのように検討しているのかPDCAサイクルをチェックし、改善していくにはどうしたらいいのかということも課題かなと思えます。事務局としては低い評価のものについて、どういうアクションを起こすのか、今までどのようにしてきたかわかりますか。昨年の報告では、参加率が低いものをどうするか、見直しや事業廃止するのかな

のかといった議論をしたことがあったとは思いますが、各課のアクションでなくとも、生涯学習・スポーツ課の事業で B、C 評価になっているものについて、どのように対応しているか、現状があればお答えいただきたいです。

事務局) 昨年の状況としては、評価が低いものにつきましては、担当課の方と協議しまして、今後の方向性を決めたり、協議を実施したりしたところです。

委員) 各課の事業は期間が長くなると形骸化してしまいます。達成度については、多分手段や方法がどうだったかという達成度だと思うのですが、事業目的が今の時代のニーズに合っているかどうか、ここからやはり考えてみる必要があるのではないかと思います。時代にマッチしているかどうかということがまず先決であるなと思います。PDCA サイクルで進めておられますが、それはあくまでも目標達成するための手段がどうであったかなんです。時代に沿っていなかったらどうなるのかなと考える次第です。例えば、今小学校・中学校における児童・生徒のなかなか学校だけでは解決できない問題ってどんなことがありますか。

議長) 議論が大きくなってしまいかしれません。

委員) 私は、不登校だと思っているんですよね。不登校問題について、小学校・中学校で減ってはいない現状です。生涯学習・スポーツ課における子育て講座は形骸化されてはいないかどうかということを私はすごく危機感を持っています。テーマは様々ですが、保護者の方は自分で講座を選ぶことができない、たまたま就学先の学校で、その校長先生の話聞く。私はこんな話は聞きたくなかったのに、不登校の話が聞きたかったのにという意見もあるのではないかと思います。

議長) それはちなみにこの資料でいうところ何になりますか。

委員) 5-3 ですね。自分が受けるテーマの講座を選べないという大きな問題点が 1 つあります。2 つ目は、調べてみると、この子育て講座は集団的な子育て講座ではなくて、個別的な子育て講座に多くの自治体に移行しているんです。専門のファシリテーターやスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等々を派遣して、個別に保護者の相談を図っており、それが少しずつ成果が出ているということなんです。これは他市町村の話ですから、ここはここで進めたらいいと思いますけれども、この現状を鑑みて、今の子育て事業でいいのかということ、しっかりと振り返って考えてみなければならないのではないかなということを強く思っています。目標の見直し、内容の見直しを今後図っていただけたらありがたいなと思います。

議長) はい、ありがとうございます。不登校に強い意識があるということですが、少し整理させていただくと、一つ目は 5-3 の子育て講座が A という評価になっているけれども、違った視点からやったらいいのではないかなということと、不登校に関しては、学校教育でいろいろ対策しているけれども、社会教育としてどうやってアプローチするかっていうのは、考えなくてはいけなところだと思います。貴重なご意

見ありがとうございました。

委員) 先ほどのお話の中で、私は少しだけお手伝いさせていただいている立場です。委員がおっしゃるのは、保護者のニーズとおっしゃいましたが、これは就学児、今度1年生になる年長さんの保護者さんを対象とした講座のことをおっしゃっているのでしょうか。

委員) はい。

委員) それは万人に向けた退職校長先生方のお話っていうのはちょっと難しいんじゃないかなって私は感じています。いろいろなところに参加させていただきましたが、この先生の話は今の自分に当てはまるといったお話だと思いました。1年生になる心構え、お母さん、お父さんとしての心構え、今度小学校に行くにはこうだよといったお話を講師の皆さんがされているので、私はA評価でいいのではないかなと思います。それぞれの先生のいろいろなお話し方やお持ちの能力等はあるにせよ、どの先生に当たるかっていうのはわからないことなので、派遣された先生、派遣されたファシリテーターがどのようにしていくのかっていうのはそれぞれという感じだったので私は良いと思いました。

委員) 私は講座を退職校長がもつのではなくて、現職の校長先生が説明責任を負うべきだと思います。2月に講座を持つ学校もありますが、はっきり言うと2月では遅すぎるんですよ。10月頃の健診とかそのあたりで校長先生が自ら話をすることによって、保護者の方も安心感があると思います。そのあたりもこうした子育て講座に関しては、やはり現場の校長先生が責任を持って保護者の方にお話しするというのが今後大事になってくるんじゃないかなという私は思います。

議長) はい、ありがとうございます。一応講座に対するご意見ということで、先生方一言ございますか。

委員) はい、委員のおっしゃるように昔は集団に話せばいいところも、多様な家庭、保護者の方がいますので、そこに届いているのかなというような、そういうご心配からのご発言ではないかなというふうに思います。この講座に関わらず、保育所あるいは幼稚園の方に出向いて、保護者の方に向かって、話をさせていただくような機会を作っております。そしてご質問等に答えていただきながら、幼稚園・保育園とも連携しながら進めているところですので、なんとかこの子育てっていう部分においてのニーズに応えようとしてはいるのではと思っています。

議長) そうですね。ありがとうございます。個別の事業にご意見いただいたところですが、時間の都合もあるので。評価に対するご意見はあるかと思いますが、先に進んだ中で、再度ご指摘をいただけたら幸いかなと思います。今のような議論がまさにこれから見直す基本方針に、もっとこういう文言を入れて、事業自体を舵取りしていくべきじゃないかというところにつながると思いますので、一旦こちらについての話は、止めさせていただいて、先に進めさせていただきます。

7 協議事項 鳥取市生涯学習基本方針の見直しについて

(事務局説明)

議長) はい、ありがとうございました。資料3で昨年度第3回にすでに直していただいたところの説明いただきましたけども、この部分も資料4には反映されているということなので、資料4が現状の最新の修正案です。今回の会議に先立って、副会長とも一緒になって、見直しの提案をさせていただいたところです。特にPTAについては事前の打ち合わせで話にあがったのですが、問い合わせいただいて、丁寧に文章で回答いただいたということかと思います。

それ以外も含めて、何かございますか。副会長何か補足ありますか。

副会長) 事前に協議した中で、今回提案しましたこの資料4の変更点につきましては、会長、私及び事務局の方とお話をしました。前の鳥取市の将来像は「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる鳥取市」といった理念だったんです。この理念は素晴らしいなと思い、ぜひ残しておけないかなということで話をさせていただきました。鳥取県の高校2年生で「鳥取県内で過ごしたい」という人が39.8%、「県外で生活したい」という人が57.8%といったデータがありました。この数字が多いか少ないかというのは、いたずらに評価はしづらいと思いますけど。少子化、人口が減っていくということについては、我々全員が考えていけないといけないかなと思います。このようなことをふまえて、前回の基本方針の中に入っていた「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる鳥取市」のことを残さないかなということを提案させていただいて、冒頭にこの文章を記載させていただいた次第でございます。

議長) はい、ありがとうございます。今言及がありましたが、第12次総合計画と教育振興基本計画について、正式に決まったものを再度配らせていただいています。

ではここから皆さんのご意見やお気づきの点、これはぜひ入れるべきではないか等、ありませんか。例えば先ほど不登校のことがありましたが、不登校についていえば教育振興基本計画の中には目次でパッと見ただけでも書かれています。振興基本計画の目次をみると基本方針Ⅰ推進施策2の「誰一人取り残さない教育の推進とウェルビーイングの向上」で、不登校等の児童生徒への教育機会の確保ということが、柱立てされているということになります。教育委員会の計画の中では書かれているのですが、それを生涯学習の中でどう位置づけて書くかというのは、ここにこういう風には書き込んだらいいんじゃないかとか、ここに書いてあるからいいんじゃないかとかそういったご意見もいただけると幸いです。

委員) 資料2の目次3ページにて事業名が「市民体育祭」となっておりますけども、「市民スポーツ大会」という名称に変更されているはずです。鳥取市市民スポーツ大会という名称に変わっておりますので、これは訂正された方がいいんじゃないかなと

思います。

議長) ご指摘ありがとうございます。先ほど評価とかの部分も遡ってご指摘があれば、お願いいたします。

委員) 事業評価の中に自分がやっているあのサークルがありました。知らない間に評価がつき、B 評価なのだと思ったのですが、今日のお話を聞いて B 評価まあまあじゃないかっていうのがあって、本当に社会教育でいつまでもいつでも学んでいけるっていうことが大切なことだなと思います。不登校の話でもあったんですけど、いつでも帰ってこられる学びに帰ってこられるっていう気持ちで、学べなかった人々を救い上げていかないといけないなっていうのを感じました。

委員) あの生涯学習基本方針の訂正する文ですけども、副会長もおっしゃられましたように、非常に思いがこもっており、今までの流れを引き継ぎながら、そしてより新たなものを目指すものになっていると思います。1 点ですが、生涯学習基本方針の 3 ページ (3) 地域の住民や機関、諸団体と行政の連携協力を進めるところに行政‘と‘が入るといいのかなと思ったということです。

委員) 例えば 6-4 になりますけども、公民館祭りの評価が E になっているので、ずいぶん低いなと思って感じました。それぞれの地域によっての取り組みが違ってくると思うんですけど、うちの地域では、若い保護者の方が入ってこられて、あの盛り上げていただいているというような部分もあります。色々と新しい取り組みや若い人の力を借りてやっているんで、これはまだまだ力があるんじゃないかなという風には感じております。社会教育全体についてなんですけど、私は退職してからずっと介護相談員をしているのですが、介護相談員をする中で、非常にいろんな方がおられて、介護施設に行って話を聞いたり、「ぜひ来てください。」「今度いつ来られるんですか。」という場合もあるんですけども、やはり一番大きな問題は、その社会教育全体の中で、孤独感を感じている方には、いろんな地域の活動に参加してもらえばいいと思っています。話をしても、来て話をしてもらっただけで十分ですという方は、孤立感が非常にあるような感じがしているんです。それをいかにして社会の中に入ってもらえるかっていうようなところが今一番自分の課題として持っているところです。そういうところをこれから考えていけたらなというふうに思っています。

事務局) 冒頭に言っていたいた支所のところですが、資料の差し替えがありまして、評価が B に変わっております。改めて送付いたします。

委員) 私は子ども会を救うためにいろいろ活動してきました。ですが先日、子どもの人数が一番多い地域の子ども会が解散していたのを知りました。理由を聞いたところ役員のやり手がないということでした。PTA がなくなり、子ども会がなくなると残っている人に負担がかかって、例えば交通当番の回数が増えることで、仕事に支障があるんですね。一番の被害者が子どもであり、これを救わずしてというのがあっ

て、やはり子どもたちが一番で、次世代を担う子どもたちを大事にせずして、世の中は成り立たないという意識があります。

議長) ありがとうございます。貴重なご指摘、危機感の共有ありがとうございました。まだまだあるところかと思いますが、お気づきの点等は事務局や私どもの方にメールや個別にでもご連絡いただければと思います。

8 今後の予定・その他

事務局) 先月6月4日に令和8年度鳥取県社会教育委員連絡協議会表彰式が倉吉市でありましたが、この度、本市の方から社会教育委員として山下多恵子さんが、表彰されましたので、この場を借りてご報告いたします。

第2回は11月第3回は3月ごろを予定しております。また近づきましたらご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。以上で第1回鳥取市社会教育委員の会議を閉会いたします。皆様、長時間にわたりありがとうございました。

9 閉会